

2026年度

通常総会議案

総会次第

審議事項：

- 第1号議案 2025年度事業報告（案）
- 第2号議案 2025年度決算報告（案）
- 第3号議案 2026年度支部役員改選（案）

報告事項：

- 報告事項1. 会員数の推移
- 報告事項2. 2026年度事業計画
- 報告事項3. 2026年度正味財産増減予算書

大地と語り合い 未来をつくる



公益社団法人 地盤工学会関西支部

〒540-0012 大阪市中央区谷町 1-5-7 スタービル天満橋 801 Tel : 06-6946-0393 Fax : 06-6946-0383 <http://www.jgskb.jp/>

目 次

| | |
|-------------|---|
| 2025年度の主な動き | 1 |
|-------------|---|

審議事項

| | |
|-----------------------|-----|
| 第1号議案 2025年度事業報告（案） | 4 |
| 第2号議案 2025年度決算報告（案） | 1 2 |
| 第3号議案 2026年度支部役員改選（案） | 1 6 |

報告事項

| | |
|------------------------|-----|
| 報告事項1. 会員数の推移 | 1 7 |
| 報告事項2. 2026年度事業計画 | 1 9 |
| 報告事項3. 2026年度正味財産増減予算書 | 2 2 |

資 料

| | |
|---------------------|-----|
| 1. 歴代支部長・副支部長・幹事長名簿 | 2 3 |
| 2. 2025年度支部役員構成 | 2 4 |
| 3. 関西支部特別会員名簿 | 2 5 |

2025 年度の主な動き

地盤工学会は、2010 年 11 月 1 日に公益社団法人地盤工学会として登記され、地盤工学の進歩や地盤工学に関わる技術者の資質向上を図るとともに、公益性を意識して活動を行うことが求められています。これを受けて、地盤工学会は、(1)学術技術の進歩への貢献、(2)技術者の資質向上、(3)社会への貢献の 3 つの目的を掲げて活動しています。この目的に沿うべく、関西支部では 2025 年度に以下の活動を行いました。いずれの行事も参加者間の交流を促進すべく対面での活動を基本としつつ、参加者の利便性を考慮し、可能な行事についてはオンライン形式を併用して実施しました。

(1) 学術技術の進歩への貢献

- 研究委員会活動
 - ・ データ連携による（スマート）斜面防災 DX：豪雨災害に対する防災の対応力の強化と被害軽減に関する調査研究委員会 【新規】
 - ・ 地盤構造物の長期性能評価とモニタリング技術の高度化に関する研究委員会 【新規】
 - ・ 夢洲の地盤性状と沈下性状に関する研究委員会 【成果報告会】
 - ・ 斜面災害リスク軽減のための 4D 多層型ハザードマップの構築とその利活用方法に関する研究委員会 【成果報告会】
- 地域地盤研究会（福井・滋賀・和歌山）

学術技術の進歩への貢献として、2025 年度には、2 つの研究委員会を立ち上げるとともに、2024 年度まで活動した研究委員会の成果報告会を実施しました。新規研究委員会である「データ連携による（スマート）斜面防災 DX：豪雨災害に対する防災の対応力の強化と被害軽減に関する調査研究委員会」では、これまで継続的に研究されてきた斜面災害リスク低減に関する知見を現場の意思決定に反映するため、データの連携方法や各種成果の統合化に関する研究活動を行っています。また、「地盤構造物の長期性能評価とモニタリング技術の高度化に関する研究委員会」では、地盤構造物に関して、変形・破壊メカニズムの理解、ならびにその数値解析手法や評価技術の高度化を図るとともに、先端技術を活用したモニタリング・予測・維持管理手法についての研究活動を行っています。また、各地域の地盤研究会を継続的に実施しており、各地域の地盤に関する研究を推進するとともに、人的交流を深めてきました。

(2) 技術者の資質向上

- 総会時特別講演会（4/24 開催）
- *Kansai Geo-Symposium 2025*
 - ー地下水地盤環境・防災・計測技術に関するシンポジウムー（11/5 開催）

- 現場見学会 -新名神高速道路 宇治田原トンネル・城陽スマート IC- (10/21 開催)
- 講習会 「地盤調査法 ～現場透水試験の基礎と実践～」 (12/2 開催)
- 講演会 「青函トンネル：技術の挑戦と未来への展望」 (1/15 開催)
- 第 16 回若手セミナー (12/19 開催)
- 第 67 回実技セミナー (5/16 開催)「物理探査入門」
- 令和 7 年度施工技術報告会 (2/12 開催)
- 表彰事業 (地盤工学会関西支部賞)

技術者の素質向上として、2025 年度には、総会時特別講演会や *Kansai Geo-Symposium 2025*,
をはじめとした各種行事を実施しました。

「地盤の環境・計測技術に関するシンポジウム」のテーマを拡張する形で、2013 年度から開催されている *Kansai Geo-Symposium* は 13 回目を迎えました。本年度は、前年度までの技術紹介、技術展示、ポスターセッションのコアタイム、コーヒープレイクを統合した「技術交流セッション」を実施して、95 名の参加者を得ました。*Kansai Geo-Symposium* は産官学の研究者と技術者が研究発表を行い、互いの技術力向上をはかるプラットフォームとして、関西支部の一大イベントとして位置づけられています。

各種の行事としては、新名神高速道路（宇治田原トンネル・城陽スマート IC）を対象とした現場見学会を実施し、大断面トンネル工事や、大規模プロジェクトにおける ICT 技術を活用した施工計画のあり方や、現場条件に応じた対応等について、実物を前に理解を深める機会を提供しました。また、講習会「地盤調査法 ～現場透水試験の基礎と実践～」では、透水性評価の位置付けや試験原理といった基礎事項に加え、データ整理・解析の考え方など、実務に直結する内容を体系的に取り上げ、受講者が現場適用上の勘所を整理できる構成としました。講演会「青函トンネル：技術の挑戦と未来への展望」を開催し、建設当時の技術的課題への挑戦、長期供用を支える維持管理の視点、今後のインフラを見据えた技術継承・リスク対応等について講演とクロストークを行いました。大規模プロジェクトの事例を通じて、不確実性の大きい地盤条件下での調査・設計・施工の考え方や、長期的な健全性確保に向けた実務的な知見を共有する機会となり、参加者が自身の業務に引き付けて学べる内容となりました。さらに、第 16 回若手セミナーでは、若手技術者・研究者が日頃の課題意識や経験を共有し、分野横断的な交流を図る場を設け、人材育成とネットワーク形成の強化に寄与しました。また、第 67 回実技セミナーでは、「物理探査入門」と題して、講義に加え大阪城公園内の遺構を対象に現地実習を実施し、測定からデータ解釈までの一連のプロセスについて理解を深める機会を提供しました。

以上の行事のほか、地盤工学会関西支部では、支部会員の地盤工学に関する学術・技術の向上・普及に資する優れた活動や社会に貢献した活動、ならびに若手の研究者・技術者の優れた学術研究活動に対して、地盤工学会関西支部賞を設けて表彰を行いました。

(3) 社会への貢献

- 市民特別講演会 (4/26 開催)
- ふるさと地盤診断ウォーク (11/15 開催)
- 出前授業 計3回開催

社会への貢献として、市民特別講演会を神戸市主催行事の開催時期に合わせて実施し、地盤工学・防災分野の研究最前線を一般市民へ分かりやすく発信しました。講演では、数値解析モデルを用いた物理シミュレーションに基づく次世代ハザードマップなど、データ統合とシミュレーションを活用した防災技術の最新動向が紹介されるとともに、防災を日常生活と調和させながら具体的行動につなげる重要性、南海トラフ巨大地震等の将来リスクを見据えた備えの考え方についても示されました。また、ふるさと地盤診断ウォーク(宇治・伏見-太閤堤-コース)を実施し、地域の成り立ちや過去の災害・治水の歴史を踏まえ、地形・地質と治水、土地利用の関係等を現地で学ぶ機会を提供しました。

そのほか出前授業も含め、上記行事においては、「身近な地盤を楽しみ、親しみ、考える」ことを通じて、地盤への理解を深める活動として意義ある行事となりました。

以上のように、関西支部では、多様な企画を実施することにより、会員サービスの拡充を図っているところです。今後とも関係各位の一層のご支援とご協力をお願いいたします。

第1号議案 2025年度事業報告（案）

1. 一般行事報告

2025年度は次のような行事を実施した。

| | |
|-----------------|----|
| 講演会 | 3回 |
| 講習会 | 1回 |
| 若手セミナー | 1回 |
| 見学会 | 2回 |
| 実技セミナー | 1回 |
| 研究会・シンポジウム・報告会等 | 4回 |
| その他（出前授業） | 3回 |

それぞれの詳細は以下に記載するとおりであり、ご協力を賜った関係各位に厚く御礼申しあげる。

【1】講演会

(1) 総会時特別講演会

日 時：2025年4月24日（木） 15:00～15:50

会 場：大阪市中央公会堂 中集会室

内容と講師：「現場で知る『地盤』」

木村 博規（（公社）地盤工学会関西支部 2024年度支部長）

参加人数：116名

(2) 市民特別講演会

日 時：2025年4月26日（土） 13:00～15:00

会 場：神戸ポートオアシス多目的ホール 2F・3F ホール

内容と講師：「デジタルツインが切り拓く防災の最前線」

竹山 智英（神戸大学大学院工学研究科）

「防災が日常を豊かにし、日常が防災を強くする」

奥村 与志弘（関西大学社会安全学部）

参加人数：40名

(3) 講演会「青函トンネル：技術の挑戦と未来への展望」

日 時：2026年1月15日（木） 14:00～17:30

会 場：ドーンセンター 大会議室

内容と講師：「世紀の難工事とその挑戦—青函トンネルを振り返る」

深沢成年（元鉄道・運輸機構 現株式会社鴻池組）

「青函トンネルの今日・明日」

朝倉俊弘（NPO法人トンネル工学研究会）

「建設当時の挑戦」×「現在の維持管理・未来」【クロストーク】

ファシリテーター：澤村 康生（京都大学大学院工学研究科）

参加人数：101名

【2】講習会

(1) 地盤調査法 ～現場透水試験の基礎と実践～

日 時：2025年12月2日(火) 13:30～19:30

会 場：ドーンセンター 大会議室 (Zoomによるオンライン併用)

内容と講師：講義「地盤調査法：現場透水試験の基礎と実践」

進士喜英 (川崎地質 (株))

実技講習「Excel®を用いた試験結果解析実技」

森裕紀 (川崎地質 (株))

参加人数：28名

【3】若手セミナー

(1) 第16回若手セミナー

日 時：2025年12月19日(金) 14:00～19:00

会 場：ドーンセンター 大会議室

内容と講師：講演「社会人ドクターへの挑戦」

夏秋 義広 (日本橋梁建設協会, 元片山ストラテック (株))

講演「学位取得のすゝめ」

栗田 秀明 (元 (株) 建設技術研究所)

参加人数：21名

【4】見学会

(1) 現場見学会—新名神高速道路 宇治田原トンネル・城陽スマートIC—

日 時：2025年10月21日(火) 12:45～16:30

会 場：新名神高速道路 (京都府域)

内 容：・新名神高速道路における工事全体の説明

・宇治田原トンネル東坑内見学

・城陽スマートIC工事概要説明

・土工事オペレータ室見学

・現場見学 (大規模土工事)

参加人数：19名

(2) ふるさと地盤診断ウォーク 宇治・伏見-太閤堤-コース

日 時：2025年11月15日(土) 9:30～15:30

内 容：・宇治橋→宇治川太閤堤跡

・宇治おうばくプラザ (座学)

・黄檗駅→桃山南口駅→伏見桃山陵→御香宮神社

講 師：松岡敦充 (長崎大学名誉教授), 北田奈緒子・水谷光太郎 (GRI財団)

参加人数：11名

【5】実技セミナー

(1) 第67回 実技セミナー「物理探査入門」

日 時：2025年5月16日（金） 10:00～18:00

会 場：ドーンセンター 大会議室3

内容と講師：

| | | |
|------|-----------------------------|----------------------------------------------|
| (講義) | 物理探査の概要 | 橋本裕司（応用地質株式会社） |
| (講義) | 物理探査の原理と方法 「音響トモグラフィ」 | 榊原淳一（JFE シビル株式会社） |
| (講義) | 物理探査の原理と方法 「表面波探査，地中レーダ」 | 木下貴裕（応用地質株式会社） |
| (実習) | 実習（大阪城） 「地表面探査，地中レーダ」 | 村岡直（応用地質株式会社） 仁木宏（大阪公立大学） 市川創（奈良国立博物館） |
| (講義) | 実習データの整理，解釈 | 村岡直（応用地質株式会社） 三田村宗樹（大阪公立大学） |

参 加 者：23名

【6】研究会・シンポジウム・報告会等

(1) Kansai Geo-Symposium 2025—地下水地盤環境・防災・計測技術に関するシンポジウム—

日 時：2025年11月5日（水） 9:00～18:30

会 場：関西大学 100周年記念会館

内 容：

開会挨拶

田山 聡 （（公社）地盤工学会関西支部 副支部長）

大島 昭彦（地下水地盤環境に関する研究協議会 座長）

基調講演「月面基地建設への挑戦～地盤工学が切り拓く宇宙開発～」

小林 泰三（立命館大学理工学部）

セッション1：地下水浸透・地域性（地下水協議会セッション）

座長：北岡 貴文（関西大学）

セッション2：防災・減災対策①（地盤工学会セッション）

座長：上田 恭平（京都大学）

セッション3：防災・減災対策②，解析・予測推定手法（地盤工学会セッション）

座長：宮崎 祐輔（関西大学）

セッション4：地下水地盤環境・地下水利用（地下水協議会セッション）

座長：高井 敦史（京都大学）

セッション5：室内・現場試験，現場計測技術（地盤工学会セッション）

座長：岡田 広久（大阪公立大学）

セッション6：データ連携による（スマート）斜面防災 DX：豪雨災害に対する防災の
対応力の強化と被害軽減に関する調査研究委員会 特別セッション

座長：小田 和広（大阪産業大学）

参 加 者：95名

(2) 令和7年度施工技術報告会「最近の建設・保全・環境技術と施工事例」(共催行事)

日 時：2026年2月12日(木) 13:30～16:35

会 場：建設交流館8F グリーンホール

報告件数：8件

内容と講師：開会挨拶

梅本 正樹 ((公社)土木学会関西支部 副支部長)

技術報告発表

①「千里丘陵における硬質地盤のシールド掘進報告」

－尼崎・久御山シールドA-2工区工事(吹田東シールド工区)－

安室 和紀

(鴻池組・ハンシン建設共同企業体 尼崎・久御山シールドA-2工区工事)

②「泥水式シールドトンネルの急速施工及び水中到達」

－R4霞ヶ浦導水石岡トンネル(第4工区)新設工事－

末次 祐貴 ((株)銭高組 石岡トンネル作業所)

③「プレストレスの消費期限」

－国道26号住吉橋(上り)架替工事－

水田 泰貴 ((株)奥村組 住吉橋工事所)

④損壊した水力発電所導水路トンネルの復旧工事

－草野川発電所TD3583m付近導水路復旧工事－

山下 裕慈 ((株)熊谷組 関西支店 土木事業部 土木部)

⑤万博アクセスルート整備に向けた河川内橋脚工事

－豊崎工区換気所新築及び開削トンネル・下部工事－

篠原 康寛 (清水建設(株) 関西支店 豊崎換気所・開削トンネル建設所)

⑥「鋭敏粘土層直下での安全安心なシールド掘進」

－一級河川 寝屋川 加納元町調節池築造工事(R4 本体内)－

荒井 総一郎 (大林・日本国土・前田特定建設工事共同企業体)

⑦ヘッドマウントディスプレイによる重機遠隔操作

－令和4-6年度桑野道路下大野トンネル工事－

京免 継彦 (佐藤工業(株) 技術センターICT推進部)

⑧「土砂圧送注水自動管理システムの開発と実用化」

－西部幹線整備工事－

田口 雅章 (西松建設(株) 西日本支社 なにわ筋線工事事務所)

閉会挨拶

深川 良一 ((一社)日本建設機械施工協会関西支部 支部長)

参加人数：99名

(3) 斜面災害による人的被害ゼロを目指して

～斜面災害リスク軽減のための4D多層型ハザードマップの構築とその利活用方法に関する研究委員会 報告会～

日 時：2025年8月7日(木) 13:00～17:00

会 場：KOBECO CREATION CENTER

内 容：・開会挨拶

・委員会活動概要

・部会1活動報告

・部会2活動報告

・部会3活動報告

- ・特別講演：防災デジタルツイン技術の社会実装
大石 哲（神戸大学 都市安全研究センター）
- ・パネルディスカッション
- ・閉会挨拶

参加者：37名

(4) 夢洲の地盤性状と沈下性状に関する研究委員会 成果報告会

- 日時：2025年9月5日（金） 13:00～17:00
- 会場：大阪公立大学文化交流センター・ホール
- 内容：
 - ・開会挨拶
 - ・委員会活動概要（本委員会，WG）
 - ・夢洲の埋立・造成過程
 - ・夢洲の地盤性状
 - ・夢洲の沈下性状
 - ・閉会挨拶

参加者：82名

【7】その他

(1) 出前授業

- ① 実施日時：2025年6月17日（火）14:55～16:25
出前先：京都ノートルダム女子大学（京都市左京区）
受講者：「環境教育」の受講学生18名
授業題目：三歳児から大人まで，泥だんごを両手で体感科学
講師：水野克己（大阪ベントナイト事業協同組合）
- ② 実施日時：2025年7月8日（火）15:15～16:45
出前先：OMMビル（大阪府中央区大手前1-7-31）
受講者：近畿補償コンサル会の会員43名
授業題目：大阪平野の生い立ち～大阪地盤の特徴・液状化予測と対策～
講師：大島昭彦（大阪公立大学）
- ③ 実施日時：2025年12月2日（火）45分×3クラス
出前先：豊中市立桜塚小学校
受講者：小学6年生 約90名
授業題目：大地のつくり
講師：鍋島康之（明石工業高等専門学校，現大阪公立大学）

2. 委員会・研究会報告

【1】 研究委員会

(1) データ連携による（スマート）斜面防災 DX：豪雨災害に対する防災の対応力の強化と被害軽減に関する調査研究委員会

目的等：近年、ICT 技術によって、斜面の水分状況をリモートかつリアルタイムで観測できるようになってきている。また、衛星・画像・レーザーなどの測量技術の進歩は、斜面の表面的な変状の情報を精度良く与えるものである。一方で、自らの生活範囲における斜面の情報を非常に簡便な方法で計測する市民参加型の斜面の情報収集の取り組みも試みられている。さらに、これらの斜面に関する情報を使って、数値シミュレーションや機械学習技術で斜面の不安定性やその近未来予測に取り組んでいる研究も行われている。

このように、豪雨時の斜面防災に関する研究はそれぞれの分野では進んではいるが、それらが、①市民や自治体の避難防災体制、②重要なインフラの管理者に対する情報提供、③発災箇所の特定などの緊急対応者（警察・消防署など）に必ずしも十分な情報提供を行っていないのが現状である。ところで、Society5.0の世界では、個々のデジタル情報を連携させたデータトランスフォーメーション（DX）により、社会的課題を効率的に解決することが求められている。これを斜面防災に適用してみれば、災害前後に、その地域の特性などを踏まえ、災害・被災情報をきめ細かく予測・収集・分析することとその結果を、上記①～③のステークホルダーに対して、意思決定に資する情報提供を行うことが必要である。

本研究では、広い分野から委員の参加を求め、データ連携のための情報共有プラットフォームに求められる資質・データ連携によって生み出される成果・各種ステークホルダーに対して意思決定に資する情報を提供するための各種の成果の統合化などについて研究を行うものである。

委員長：小田 和広（大阪産業大学）

委員数：31名

開催回数：全体会議3回、幹事会1回

(2) 地盤構造物の長期性能評価とモニタリング技術の高度化に関する研究委員会

目的等：人口減少およびインフラの老朽化を迎える中で、盛土、擁壁、斜面、トンネル、基礎構造などの地盤系構造物の健全性を長期的に維持・管理していくことが重要な社会課題になっている。本研究委員会では、これらの地盤構造物に関して、変形・破壊メカニズムの理解、ならびにその数値解析手法や評価技術の高度化を図るとともに、IoT・AI・リモートセンシング・CIM・デジタルツインなどの先端技術を活用したモニタリング・予測・維持管理手法について議論を深める。

また、これまでに実施されてきた各種モニタリング・点検・維持管理に関するデータの掘り起こしやデジタル化、およびその利活用も重要な検討課題と捉え、過去の知見や蓄積データを最大限に活用した地盤インフラの健全性評価のあり方について多角的に検討する。当委員会では、行政・企業・大学・研究機関の幅広い関係者が参画し、学際的かつ実務的な視点から地盤構造物の長寿命化と災害レジリエンスの向上に資する知見の共有と発信を目指す。

委員長：安原 英明（京都大学）、菊本 統（京都大学）

委員 数：20 名

開催回数：全体会議：2 回

【2】地域地盤研究会

(1) 福井地域地盤研究会

目的等：福井地域の地盤に関する研究推進や人的交流を一層深め、福井地域内の活動をより活発にするため、計3回の講演会を実施した。これら講演会は、福井県建設技術公社との共催、NPO 福井地域地盤防災研究所の後援を受けている。

委員長：荒井 克彦（福井大学名誉教授）

委員 数：100 名

開催回数：3 回

2025 年 5 月 30 日（金） 第 92 回福井地域地盤研究会

2025 年 11 月 25 日（火） 第 93 回福井地域地盤研究会

2026 年 2 月 10 日（火） 第 94 回福井地域地盤研究会

(2) 和歌山地域地盤研究会

目的等：和歌山地域の地盤に関する災害調査等を必要に応じて実施する。

委員長：江種 伸之（和歌山大学）

開催回数：災害調査等はなし

(3) 滋賀地域地盤研究会

目的等：滋賀地盤講演会、定例勉強会、見学会等を実施することにより、滋賀地域の地盤に関する研究推進や人的交流を一層深め、滋賀地域内の活動を活性化することを目的とする。

委員長：深川 良一（立命館大学）

委員 数：22 名

開催回数：2 回

2025 年 5 月 22 日（木） 第 38 回滋賀地盤講演会

2026 年 1 月 14 日（木） 第 39 回滋賀地盤講演会

【3】表彰委員会

目的等：支部活動の活性化等を図るため、支部会員の地盤工学の学術・技術の向上・普及に貢献した活動を表彰する制度に対し、その選考を行う。

委員長：岸田 潔（京都大学大学院工学研究科）

委員 数：7 名

開催回数：1 回（委員会 1 回、ヒアリング・選考会 1 回）

3. 総会・役員会等報告

【1】通常総会

日 時：2025年4月24日(木) 16:00～17:10
会 場：大阪市中央公会堂
参加者数：275名（出席者118名，委任状提出者157名）

【2】顧問懇談会

日 時：2025年9月16日(火) 11:30～12:30
会 場：ドーンセンター（オンライン併用）

【3】商議員会

(1) 第1回商議員会

日 時：2025年9月16日(火) 16:00～17:00
会 場：ドーンセンター（オンライン併用）

(2) 第2回商議員会

日 時：2026年4月23日(木) 13:00～14:30
会 場：大阪市中央公会堂

【4】幹事会等

(1) 幹事会

開催回数：4回（6月，9月，1月，3月）

(2) 支部活性化WG

開催回数：4回（6月，9月，1月，3月）

(3) 代議員懇談会

日 時：2025年9月16日(火) 13:30～15:30
会 場：ドーンセンター（オンライン併用）

【5】合同委員会

(1) 第1回合同委員会

日 時：2025年6月26日(木) 15:00～17:00
会 場：ドーンセンター（オンライン併用）

(2) 第2回合同委員会

日 時：2026年1月22日(木) 15:00～17:00
会 場：ドーンセンター（オンライン併用）

第2号議案 2025年度決算報告(案)

正味財産増減計算書

2025年 4月 1日から2026年 3月31日まで

公益社団法人地盤工学会
公益目的事業会計

関西
(単位：円)

| 科 目 | 当年度 | 前年度 | 増 減 |
|-----------------|------------|------------|-------------|
| I 一般正味財産増減の部 | | | |
| 1. 経常増減の部 | | | |
| (1) 経常収益 | | | |
| 事業収益 | 1,226,800 | 1,006,100 | 220,700 |
| 調査研究・基準事業収益 | 901,200 | 702,600 | 198,600 |
| 講演会等収益 | 235,400 | 204,600 | 30,800 |
| 報告会収益 | 187,000 | 0 | 187,000 |
| シンポジウム収益 | 415,000 | 399,000 | 16,000 |
| 見学会収益 | 56,100 | 74,800 | △ 18,700 |
| 若手セミナー収益 | 7,700 | 24,200 | △ 16,500 |
| 技術推進事業収益 | 325,600 | 303,500 | 22,100 |
| 講習会収益 | 64,900 | 148,500 | △ 83,600 |
| 実技セミナー収益 | 260,700 | 155,000 | 105,700 |
| 雑収益 | 1,265,552 | 1,128,163 | 137,389 |
| 受取利息 | 631 | 223 | 408 |
| その他 | 631 | 223 | 408 |
| 雑収益 | 1,264,921 | 1,127,940 | 136,981 |
| 課税 | 1,264,921 | 1,127,940 | 136,981 |
| 本部交付金 | 10,290,000 | 10,440,000 | △ 150,000 |
| 経常収益計 | 12,782,352 | 12,574,263 | 208,089 |
| (2) 経常費用 | | | |
| 事業費 | 10,514,423 | 12,106,152 | △ 1,591,729 |
| 賞与引当金繰入額 | 80,000 | 80,000 | 0 |
| 臨時雇賃金 | 2,875,205 | 3,672,677 | △ 797,472 |
| 法定福利費 | 460,574 | 441,140 | 19,434 |
| 雇用保険 | 26,596 | 25,255 | 1,341 |
| 労災保険 | 8,866 | 11,240 | △ 2,374 |
| 健康保険 | 141,107 | 135,143 | 5,964 |
| 介護保険 | 21,910 | 20,912 | 998 |
| 厚生年金 | 262,095 | 248,590 | 13,505 |
| 福利厚生費 | 3,643 | 2,319 | 1,324 |
| 福利厚生費 | 3,643 | 2,319 | 1,324 |
| 会議費 | 1,363,932 | 245,240 | 1,118,692 |
| 旅費交通費 | 267,070 | 49,540 | 217,530 |
| 通信運搬費 | 371,985 | 371,025 | 960 |
| 減価償却費 | 591,281 | 811,952 | △ 220,671 |
| 建物 | 418,389 | 542,628 | △ 124,239 |
| 什器備品 | 172,892 | 269,324 | △ 96,432 |
| 消耗什器備品費 | 224,830 | 536,255 | △ 311,425 |
| 修繕費 | 80,880 | 80,880 | 0 |
| 印刷製本費 | 102,362 | 17,705 | 84,657 |
| 光熱水料費 | 191,315 | 190,748 | 567 |
| 賃借料 | 856,231 | 797,871 | 58,360 |
| 会場使用料 | 728,604 | 910,956 | △ 182,352 |
| 保険料 | 47,515 | 46,493 | 1,022 |
| 諸謝金 | 960,280 | 871,980 | 88,300 |
| 委託費 | 0 | 990,401 | △ 990,401 |
| 支払手数料 | 105,742 | 109,260 | △ 3,518 |
| 雑費 | 1,202,974 | 1,879,710 | △ 676,736 |
| 経常費用計 | 10,514,423 | 12,106,152 | △ 1,591,729 |
| 評価損益等調整前当期経常増減額 | 2,267,929 | 468,111 | 1,799,818 |
| 評価損益等計 | 0 | 0 | 0 |
| 当期経常増減額 | 2,267,929 | 468,111 | 1,799,818 |
| 2. 経常外増減の部 | | | |
| (1) 経常外収益 | | | |
| 経常外収益計 | 0 | 0 | 0 |
| (2) 経常外費用 | | | |
| 経常外費用計 | 0 | 0 | 0 |
| 当期経常外増減額 | 0 | 0 | 0 |
| 当期一般正味財産増減額 | 2,267,929 | 468,111 | 1,799,818 |
| 一般正味財産期首残高 | 78,438,742 | 77,970,631 | 468,111 |
| 一般正味財産期末残高 | 80,706,671 | 78,438,742 | 2,267,929 |
| II 指定正味財産増減の部 | | | |
| 当期指定正味財産増減額 | 0 | 0 | 0 |
| 指定正味財産期首残高 | 0 | 0 | 0 |
| 指定正味財産期末残高 | 0 | 0 | 0 |
| III 正味財産期末残高 | 80,706,671 | 78,438,742 | 2,267,929 |

貸借対照表

2026年 3月31日現在

公益社団法人地盤工学会
公益目的事業会計

関西
(単位：円)

| 科 目 | 当年度 | 前年度 | 増 減 |
|-------------------|------------|------------|-----------|
| I 資産の部 | | | |
| 1. 流動資産 | | | |
| 現金預金 | 642,886 | 261,292 | 381,594 |
| 未収金 | 0 | 12,285 | △ 12,285 |
| 前払金 | 225,819 | 396,325 | △ 170,506 |
| 預け金 | 65,017,193 | 63,039,558 | 1,977,635 |
| 流動資産合計 | 65,885,898 | 63,709,460 | 2,176,438 |
| 2. 固定資産 | | | |
| (3) その他固定資産 | | | |
| 土地 | 13,109,000 | 13,109,000 | 0 |
| 建物 | 1,726,260 | 2,144,649 | △ 418,389 |
| 什器備品 | 315,916 | 488,808 | △ 172,892 |
| その他固定資産合計 | 15,151,176 | 15,742,457 | △ 591,281 |
| 固定資産合計 | 15,151,176 | 15,742,457 | △ 591,281 |
| 資産合計 | 81,037,074 | 79,451,917 | 1,585,157 |
| II 負債の部 | | | |
| 1. 流動負債 | | | |
| 未払金 | 21,603 | 705,175 | △ 683,572 |
| 前受金 | 228,800 | 228,000 | 800 |
| 賞与引当金 | 80,000 | 80,000 | 0 |
| 流動負債合計 | 330,403 | 1,013,175 | △ 682,772 |
| 負債合計 | 330,403 | 1,013,175 | △ 682,772 |
| III 正味財産の部 | | | |
| 1. 指定正味財産 | | | |
| 指定正味財産合計 | 0 | 0 | 0 |
| 2. 一般正味財産 | | | |
| 正味財産合計 | 80,706,671 | 78,438,742 | 2,267,929 |
| 負債及び正味財産合計 | 81,037,074 | 79,451,917 | 1,585,157 |

財産目録

2026年 3月31日現在

公益社団法人地盤工学会

関西

公益目的事業会計

(単位：円)

| 貸借対照表科目 | | 場所・物量等 | 使用目的等 | 金額 |
|------------------------|---------|----------------------|------------|--------------|
| (流動資産) | 預金 | 振替貯金 | | 556,430 |
| | | その他 | 運転資金として | 556,430 |
| | | 普通預金 | | 86,456 |
| | | 三井住友銀行 天満橋支店(普通) | 運転資金として | 86,456 |
| | 前払金 | | | 225,819 |
| | | その他 | | 225,819 |
| | 預け金 | 本部 | | 65,017,193 |
| | | 特定資産(みずほ 3029370) | | 27,732,153 |
| 周年記念事業、事務所 取得に備えたもの | | | 37,285,040 | |
| 流動資産合計 | | | | 65,885,898 |
| (固定資産) | その他固定資産 | 土地 | | 13,109,000 |
| | | ストークビル天満 橋801号室 | | 13,109,000 |
| | | 建物 | | 1,726,260 |
| | | 取得原価 | | 29,726,000 |
| | | 減価償却累計額 | | △ 27,999,740 |
| | | 什器備品 | | 315,916 |
| | | 取得原価 | | 1,003,321 |
| | | 減価償却累計額 | | △ 687,405 |
| 固定資産合計 | | | | 15,151,176 |
| 資産合計 | | | | 81,037,074 |
| (流動負債) | 未払金 | | | 21,603 |
| | | 令和7年度分 | | 21,603 |
| | 前受金 | | | 228,800 |
| | | その他 | | 228,800 |
| | 賞与引当金 | | | 80,000 |
| 流動負債合計 | | | | 330,403 |
| 負債合計 | | | | 330,403 |
| 正味財産 | | | | 80,706,671 |

2026年4月17日

公益社団法人 地盤工学会関西支部
支部長 田中 利光 殿

公益社団法人 地盤工学会関西支部

支部監事 皿海 章雄



公益社団法人 地盤工学会関西支部

支部監事 小林 猛嗣



監 査 報 告 書

私たちは、2025年4月1日から2026年3月31日までの2025年度における会計および業務の監査を行い、次のとおり報告する。

1 監査方法の概要

- (1) 会計監査について、帳簿並びに関係書類の閲覧など必要と思われる監査手続を実施するとともに、収支計算書および貸借対照表等の計算書類につき検討を加えた。
- (2) 業務監査について、商議員会および幹事会等に出席して、幹事からの業務執行報告を聴取し、関係書類の閲覧など必要と思われる監査手続を実施することによって業務執行の妥当性を検討した。

2 監査意見

- (1) 2025年度支部会計の収支計算書および貸借対照表等は会計帳簿の記載金額と一致し、支部の収支状況および財産状態を正しく示していると認める。
- (2) 2025年度事業報告の内容は真実であると認める。
- (3) 役員職務執行に関する不正の行為又は法令もしくは定款に違反する事実はないと認める。

以 上

第3号議案 2026年度支部役員改選(案)

2026年度支部役員体制(2026年4月23日現在)

(◎印 新任)

| 役職名 | 氏名 | 所属名 | 役職名 | 氏名 | 所属名 |
|------|-------|-------------------------------------------|-----|-------|--------------------|
| ◎支部長 | 勝見 武 | 京都大学 | ◎ | 江副 哲 | (株)不動産トラ |
| 副支部長 | 鳥居 宣之 | 神戸市立工業高等専門学校 | ◎ | 加藤 亮輔 | (株)日建設計 |
| ◎ | 梅本 正樹 | 大成建設(株) | ◎ | 小瀬川奉久 | (株)アサノ大成基礎エンジニアリング |
| ◎ | 日田 哲也 | 大阪府 | ◎ | 坂本 岳志 | 関西エアポート(株) |
| 顧問 | 片瀬 貴文 | 元中央復建コンサルタンツ(株) | ◎ | 坂本 寛章 | 西日本旅客鉄道(株) |
| | 西田 一彦 | 関西大学名誉教授 | ◎ | 橋 伸也 | 神戸大学 |
| | 平峯 悠 | NPO法人 地域デザイン研究会 | ◎ | 辻 浩樹 | 大成建設(株) |
| | 松井 保 | (一財)災害科学研究所理事長、大阪大学名誉教授 | ◎ | 富田 雄一 | 西日本高速道路(株) |
| | 福井 實 | 元大手前大学 | ◎ | 戸田 伸親 | 清水建設(株) |
| | 仙波 惇 | いであ(株)技術顧問 | ◎ | 南部 啓太 | 協和設計(株) |
| | 星野 鐘雄 | NPO法人 地域デザイン研究会 | ◎ | 新村 知也 | 大阪ガス(株) |
| | 沖村 孝 | (一財)建設工学研究所、神戸大学名誉教授 | ◎ | 藤本 哲生 | 大阪工業大学 |
| | 大西 有三 | (一社)ドローン測量教育研究機構、京都大学名誉教授 | ◎ | 山下 隆之 | 神戸市 |
| | 古土井光昭 | Port Engineering Network | 幹事長 | 肥後 陽介 | 京都大学 |
| | 嘉門 雅史 | (一社)環境地盤工学研究所理事長、京都大学名誉教授 | 幹事 | 伊藤 真一 | 立命館大学 |
| | 中島 裕之 | 元阪神高速技術(株) | | 大藪 剛士 | 応用地質(株) |
| | 奥田 剛章 | ニシキコンサルタンツ(株) | | 加茂由紀彦 | 八千代エンジニアリング(株) |
| | 田中 泰雄 | UTAR大学土木工学科教授、神戸大学名誉教授 | | 木村 孔紀 | 西松建設(株) |
| | 霜上 民生 | (株)近畿地域づくりセンター | | 園田 悠介 | 神戸大学 |
| | 岡 二三生 | 京都大学名誉教授 | | 利根根志美 | 川崎地質(株) |
| | 松田 好史 | 西日本旅客鉄道(株) | | 中村 大樹 | 西日本高速道路(株) |
| | 池内 幸司 | (一財)河川情報センター、東京大学名誉教授 | | 日高 亮 | (株)不動産トラ |
| | 谷本 光司 | (一財)近畿建設協会 | | 藤本知可子 | 大阪府 |
| | 内田 一徳 | 神戸大学名誉教授 | | 保科 友宏 | 清水建設(株) |
| | 橋本 正 | (株)地域地盤環境研究所 | | 水野 智亮 | 大成建設(株) |
| | 竹内 廣行 | (一社)大阪府港湾協会 | | 山内 雅基 | (株)地域地盤環境研究所 |
| | 楠見 晴重 | 関西大学 | | 一色 康広 | 五洋建設(株) |
| | 南荘 淳 | 川田工業(株) | | 緒方 奨 | 大阪大学 |
| | 豊田 巖 | 元神戸市みなと総局 | | 川口 育久 | (株)竹中土木 |
| | 大島 昭彦 | 大阪公立大学 | | 古賀 真人 | NTTインフラネット(株) |
| | 東原 純 | 中央開発(株) | | 高橋 円 | (株)建設技術研究所 |
| | 東川 直正 | 2025年日本国際博覧会協会 | | 高山 裕介 | 神戸大学 |
| | 芥川 真一 | (一社)On-Site Visualization研究会代表理事、神戸大学名誉教授 | | 谷口 和則 | (株)大林組 |
| ◎ | 木村 博規 | 西松建設(株) | | 中藪 恭介 | 復建調査設計(株) |
| | 田中 利光 | 阪神国際港湾(株) | | 野並 賢 | 神戸市立工業高等専門学校 |
| 支部監事 | 小林 猛嗣 | (株)建設技術研究所 | | 松川 直史 | 阪神高速道路(株) |
| ◎ | 高橋 卓也 | 西松建設(株) | | 矢野 翔大 | 大阪ガス(株) |
| 商議員 | 井上 一哉 | 神戸大学 | | 山本 恭也 | 前田工織(株) |
| | 太田 里佳 | 復建調査設計(株) | | 山本 奈菜 | (株)オーク |
| | 岸田 誠司 | 鹿島建設(株) | ◎ | 明石実可子 | 錦城護謨(株) |
| | 薮 直樹 | 大阪市高速電気軌道(株) | ◎ | 岩本 演崇 | 日本工営(株) |
| | 島本恵梨子 | (株)奥村組 | ◎ | 大熊 広樹 | 東洋建設(株) |
| | 田中 貴人 | 国際航業(株) | ◎ | 岡田 広久 | 大阪公立大学 |
| | 中西 弘 | (株)竹中土木 | ◎ | 長田友里恵 | ケミカルグラウト(株) |
| | 中野 尊之 | 中央復建コンサルタンツ(株) | ◎ | 境 芳樹 | (株)奥村組 |
| | 八谷 誠 | (協組)関西地盤環境研究センター | ◎ | 陣内 綾音 | (株)神戸製鋼所 |
| | 林 訓裕 | 阪神高速道路(株) | ◎ | 杉山 詠一 | 大日本ダイヤコンサルタンツ(株) |
| | 松元 大樹 | 中央開発(株) | ◎ | 中野 陽介 | 鹿島建設(株) |
| | 南村 尚昭 | (株)大林組 | ◎ | 並川 卓也 | (株)竹中工務店 |
| | 宮川 知也 | 日本製鉄(株) | ◎ | 橋元 洋典 | 西日本旅客鉄道(株) |
| | 安原 英明 | 京都大学 | ◎ | 村岡 論 | (株)エイト日本技術開発 |

報告事項 1. 会員数の推移

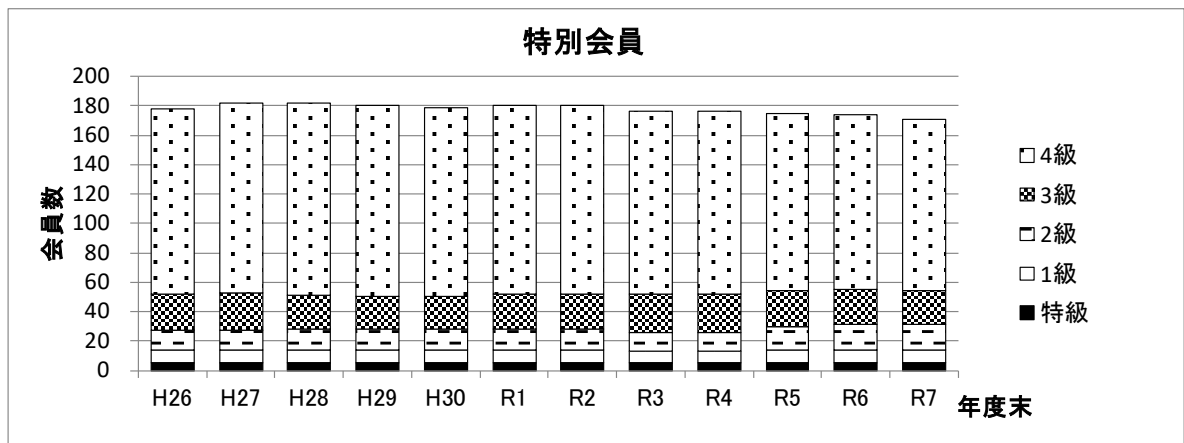
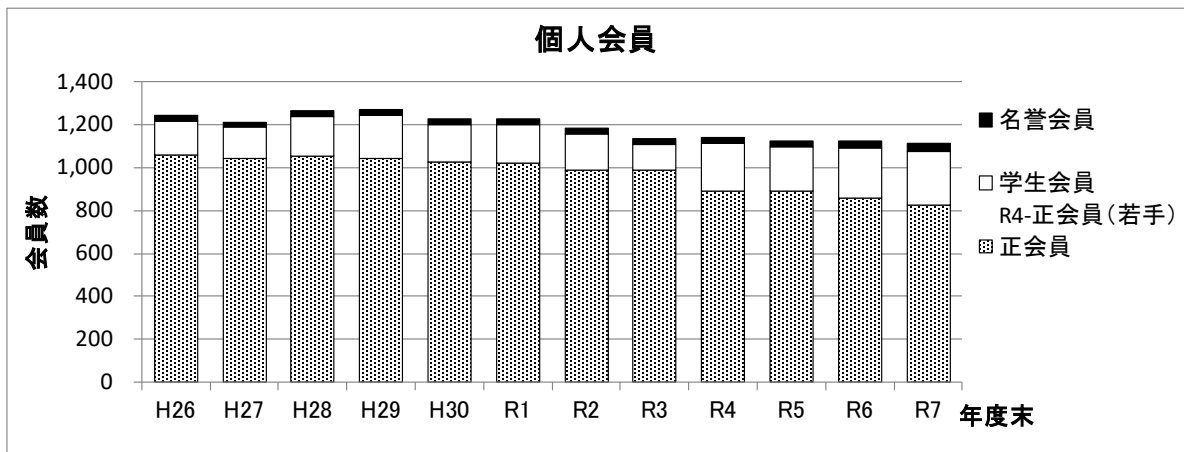
2026年3月末現在の関西支部所属の名誉会員は33名、正会員は828名、正会員（若手）学生会員は250名、特別会員は171団体である。なお、関西支部所属の国際会員は特別会員11団体（内数）、個人会員111（内数）である。支部の健全な発展のためには会員の増加は不可欠であり、今後とも個人会員、特別会員の増募についてご協力をお願いしたい。

（上段は2026年3月31日現在数、下段は2025年3月31日よりの増減）

| | 個人会員(名) | | | | 特別会員(団体) | | | | | |
|-----|----------|---------|-------------|-------|----------|----|----|-----|-----|-----|
| | 名誉 会員 | 正 会員 | 正会員 (若手) | 合計 | 特級 | 1級 | 2級 | 3級 | 4級 | 合計 |
| 北海道 | 8 | 319 | 82 | 409 | 0 | 1 | 5 | 5 | 55 | 66 |
| | 0 | -20 | 4 | -16 | 0 | 0 | 0 | 0 | 0 | 0 |
| 東北 | 8 | 312 | 54 | 374 | 0 | 1 | 1 | 8 | 34 | 44 |
| | 0 | -8 | -3 | -11 | 0 | 0 | 0 | 1 | -2 | -1 |
| 北陸 | 7 | 218 | 41 | 266 | 0 | 0 | 1 | 5 | 54 | 60 |
| | -1 | -2 | -4 | -7 | 0 | 0 | 0 | 0 | 0 | 0 |
| 関東 | 83 | 2,796 | 607 | 3,486 | 19 | 16 | 10 | 41 | 229 | 315 |
| | -3 | -38 | 47 | 6 | 2 | -1 | -1 | -1 | 0 | -1 |
| 中部 | 12 | 470 | 108 | 590 | 0 | 1 | 5 | 7 | 84 | 97 |
| | 0 | -1 | 20 | 19 | 0 | 0 | 0 | 0 | 0 | 0 |
| 関西 | 33 | 828 | 250 | 1,111 | 5 | 9 | 17 | 23 | 117 | 171 |
| | 0 | -32 | 17 | -15 | 0 | 0 | 0 | -1 | -2 | -3 |
| 中国 | 8 | 345 | 91 | 444 | 0 | 2 | 1 | 3 | 42 | 48 |
| | 0 | -10 | 8 | -2 | 0 | 0 | 0 | 0 | -1 | -1 |
| 四国 | 3 | 211 | 48 | 262 | 1 | 0 | 1 | 6 | 24 | 32 |
| | 0 | -8 | 1 | -7 | 0 | 0 | 0 | 2 | 0 | 2 |
| 九州 | 15 | 485 | 138 | 638 | 0 | 1 | 2 | 10 | 76 | 89 |
| | -1 | -25 | 11 | -15 | 0 | 0 | 0 | 0 | 1 | 1 |
| 海外 | 18 | 32 | 3 | 53 | 0 | 0 | 0 | 0 | 0 | 0 |
| | -1 | 2 | 1 | 2 | 0 | 0 | 0 | 0 | 0 | 0 |
| 合計 | 195 | 6,016 | 1,422 | 7,633 | 25 | 31 | 43 | 108 | 715 | 922 |
| | -6 | -142 | 102 | -46 | 2 | -1 | -1 | 1 | -4 | -3 |

関西支部会員数の推移

| 年度末 現在 | 個人会員 | | | | 特別会員 | | | | | | | 関西支部会員 | | |
|-----------|-------|------------------------|------|-------|------|----|----|----|----|-----|-----|--------|-------|------|
| | 正会員 | 学生会員 R4-正会員 (若手) | 名誉会員 | 計 | 前年度差 | 特級 | 1級 | 2級 | 3級 | 4級 | 計 | 前年度差 | 合計 | 前年度差 |
| H26 | 1,060 | 159 | 25 | 1,244 | ▲ 15 | 5 | 9 | 13 | 25 | 126 | 178 | 1 | 1,422 | ▲ 14 |
| H27 | 1,045 | 143 | 24 | 1,212 | ▲ 32 | 5 | 9 | 13 | 26 | 129 | 182 | 4 | 1,394 | ▲ 28 |
| H28 | 1,055 | 182 | 26 | 1,263 | 51 | 5 | 9 | 14 | 23 | 131 | 182 | 0 | 1,445 | 51 |
| H29 | 1,041 | 203 | 27 | 1,271 | 8 | 5 | 9 | 14 | 22 | 130 | 180 | ▲ 2 | 1,451 | 6 |
| H30 | 1,024 | 176 | 29 | 1,229 | ▲ 42 | 5 | 9 | 14 | 22 | 129 | 179 | ▲ 1 | 1,408 | ▲ 43 |
| R1 | 1,021 | 177 | 30 | 1,228 | ▲ 1 | 5 | 9 | 14 | 24 | 128 | 180 | 1 | 1,408 | 0 |
| R2 | 987 | 169 | 29 | 1,185 | ▲ 43 | 5 | 9 | 14 | 24 | 128 | 180 | 0 | 1,365 | ▲ 43 |
| R3 | 990 | 119 | 27 | 1,136 | ▲ 49 | 5 | 8 | 13 | 26 | 124 | 176 | ▲ 4 | 1,312 | ▲ 53 |
| R4 | 892 | 221 | 26 | 1,139 | 3 | 5 | 8 | 13 | 26 | 124 | 176 | 0 | 1,315 | 3 |
| R5 | 890 | 209 | 27 | 1,126 | ▲ 13 | 5 | 9 | 16 | 24 | 121 | 175 | ▲ 1 | 1,301 | ▲ 14 |
| R6 | 860 | 233 | 33 | 1,126 | 0 | 5 | 9 | 17 | 24 | 119 | 174 | ▲ 1 | 1,300 | ▲ 1 |
| R7 | 828 | 250 | 33 | 1,111 | ▲ 15 | 5 | 9 | 17 | 23 | 117 | 171 | ▲ 3 | 1,282 | ▲ 18 |



報告事項 2. 2026 年度事業計画

1. 一般行事

【1】講演会

講演会は、2026 年 4 月 23 日（木）に総会時特別講演会として開催する。講師は田中 利光 2025 年度支部長の予定である。また、2027 年 1 月頃を目途に、会員を対象とした講演会の開催を検討する。

【2】講習会

2025 年度の「地盤調査法 ～現場透水試験の基礎と実践～」を学ぶ講習会に引き続き、2026 年度も関連した話題を提供する技術講習会を開催予定である。

【3】若手セミナー

2020 年度より、若手技術者の「基礎知識の習得」・「技術継承」・「人脈形成」の場となるよう、現役またはベテラン技術者を講師としてお招きした、双方向・多方向型の講義形式に変更しており、2026 年度も継続して 1 回実施する予定である。

【4】見学会

関西圏の大型土木事業で支部会員の関心が高い工事現場の見学会を年 1 回、対面で実施する予定である。また、「学生対象見学会」については、ニーズに応じて随時開催し、地質巡検をしながらウォーキングを行う「ふるさと地盤診断ウォーク」を秋期に 1 回開催する予定である。

【5】実技セミナー

講義、実習を通じて、地盤に関わる業務の中で用いられる試験方法や計測方法などの重要性の理解促進を目的とした実技セミナーを、年 1 回実施する予定である。

【6】研究会・シンポジウム・報告会等

昨年度に引き続き、地下水地盤環境に関する研究協議会との共催で「Kansai Geo-Symposium 2026—地下水地盤環境・防災・計測技術に関するシンポジウム—」を開催する予定である。なお、本シンポジウムの投稿論文のうち、優れた技術あるいは研究成果、有意性を有する論文については、関西支部賞の受賞対象として推薦する。

また、「令和 8 年度施工技術報告会」を、(一社)日本建設機械施工協会関西支部、(一社)日本建設業連合会関西支部、(公社)土木学会関西支部との共催により開催する予定である。

【7】その他

上記行事のほか、小・中・高校生・一般市民の方々を対象にした出前授業をニーズに応じて随時開催することとしており、一般市民に対して広く地盤工学技術に関する啓発を進め、公益に資する活動を行う予定である。

また、2025 年度には地盤工学会関西支部の Instagram を開設し、情報発信力の強化を図っているが、2026 年度は、関西支部ホームページの更新を行うとともに、メーリングリスト、SNS 等を活用し、より多くの方々への広報を図っていく予定である。

2. 委員会・研究会

【1】研究委員会

- ① データ連携による（スマート）斜面防災 DX：豪雨災害に対する防災の対応力の強化と被害軽減に関する調査研究委員会（2025～）

委員長：小田 和広（大阪産業大学）

近年、ICT 技術によって、斜面の水分状況をリモートかつリアルタイムで観測できるようになってきている。また、衛星・画像・レーザーなどの測量技術の進歩は、斜面の表面的な変状の情報を精度良く与えるものである。一方で、自らの生活範囲における斜面の情報を非常に簡便な方法で計測する市民参加型の斜面の情報収集の取り組みも試みられている。さらに、これらの斜面に関する情報を使って、数値シミュレーションや機械学習技術で斜面の不安定性やその近未来予測に取り組んでいる研究も行われている。このように、豪雨時の斜面防災に関する研究はそれぞれの分野では進んではいるが、それらが、①市民や自治体の避難防災体制、②重要なインフラの管理者に対する情報提供、③防災箇所の特定などの緊急対応者（警察・消防署など）に必ずしも十分な情報提供を行っていないのが現状である。ところで、Society5.0 の世界では、個々のデジタル情報を連携させたデータトランスフォーメーション（DX）により、社会的課題を効率的に解決することが求められている。これを斜面防災に適用してみれば、災害前後に、その地域の特性などを踏まえ、災害・被災情報をきめ細かく予測・収集・分析することとその結果を、上記①～③のステークホルダーに対して、意思決定に資する情報提供を行うことが必要である。本研究では、広い分野から委員の参加を求め、データ連携のための情報共有プラットフォームに求められる資質・データ連携によって生み出される成果・各種ステークホルダーに対して意思決定に資する情報を提供するための各種の成果の統合化などについて研究を行う。

- ② 地盤構造物の長期性能評価とモニタリング技術の高度化に関する研究委員会（2025～）

委員長：安原 英明（京都大学）、菊本 統（京都大学）

人口減少およびインフラの老朽化を迎える中で、盛土、擁壁、斜面、トンネル、基礎構造などの地盤系構造物の健全性を長期的に維持・管理していくことが重要な社会課題になっている。本研究委員会では、これらの地盤構造物に関して、変形・破壊メカニズムの理解、ならびにその数値解析手法や評価技術の高度化を図るとともに、IoT・AI・リモートセンシング・CIM・デジタルツインなどの先端技術を活用したモニタリング・予測・維持管理手法について議論を深める。

また、これまでに実施されてきた各種モニタリング・点検・維持管理に関するデータの掘り起こしやデジタル化、およびその利活用も重要な検討課題と捉え、過去の知見や蓄積データを最大限に活用した地盤インフラの健全性評価のあり方について多角的に検討する。当委員会では、行政・企業・大学・研究機関の幅広い関係者が参画し、学際的かつ実務的な視点から地盤構造物の長寿命化と災害レジリエンスの向上に資する知見の共有と発信を目指す。

【2】地域地盤研究会

- ①福井地域地盤研究会 委員長：荒井克彦（福井大学名誉教授）

福井地域地盤研究会主催の講演会、講習会、若手技術者交流会などを3回程度実施する。

- ②和歌山地域地盤研究会 委員長：江種伸之（和歌山大学）

和歌山地域の災害調査等を必要に応じて実施する。

- ③滋賀地域地盤研究会 委員長：深川良一（立命館大学）

下記の行事を実施する予定である。滋賀地盤講演会および定例勉強会に関しては、滋賀県や地質

調査業会滋賀県支部との連携を強化していく。

- 1) 定例勉強会：2回
- 2) 滋賀地盤講演会：1回
- 3) 見学会：10月あるいは11月

【3】表彰委員会

支部活動の活性化等を図るため、支部会員の地盤工学の学術・技術の向上・普及に貢献した活動を表彰する制度に対し、その選考を行う予定である。

3. 総会・役員会等

【1】通常総会

2026年度通常総会（特別講演会を含む）を以下の要領で開催する。

- 日 時：2026年4月23日（木） 15：00～17：10
会 場：大阪市中央公会堂（大阪市中之島区1-1-27）
特別講演：15：00～15：40
総 会：15：50～17：10

【2】顧問懇談会

開催回数：1回

【3】商議員会

開催回数：2回（ただし、必要に応じてメール審議を行う）

【4】幹事会等

（1）幹事会

開催回数：4回

（2）支部活性化ワーキング

開催回数：4回

（3）代議員懇談会

開催回数：1回（関西支部選出の代議員と意見交換を図るため幹事会と合わせて実施する）

【5】合同委員会

開催回数：2回（研究委員会・研究会との意見交換を図るため幹事会と合わせて実施する）

報告事項 3. 2026年度正味財産増減予算書

2026年 4月 1日から2027年 3月31日まで

005関西

| 科 目 | 公益目的事業会計 | 合計 |
|-------------------|--------------|--------------|
| | 公1 | |
| I 一般正味財産増減の部 | | |
| 1. 経常増減の部 | | |
| (1) 経常収益 | | |
| 事業収益 | 1,019,000 | 1,019,000 |
| 調査研究・基準事業収益 | 659,000 | 659,000 |
| 技術推進事業収益 | 360,000 | 360,000 |
| 雑収益計 | 1,025,000 | 1,025,000 |
| 雑収益 | 1,025,000 | 1,025,000 |
| 経常収益計 | 2,044,000 | 2,044,000 |
| (2) 経常費用 | | |
| 事業費 | 13,427,000 | 13,427,000 |
| 賞与引当金繰入額 | 80,000 | 80,000 |
| 臨時雇賃金 | 4,400,000 | 4,400,000 |
| 法定福利費 | 638,000 | 638,000 |
| 福利厚生費 | 22,000 | 22,000 |
| 会議費 | 1,273,000 | 1,273,000 |
| 旅費交通費 | 1,062,000 | 1,062,000 |
| 通信運搬費 | 466,000 | 466,000 |
| 減価償却費 | 500,000 | 500,000 |
| 消耗什器備品費 | 200,000 | 200,000 |
| 修繕費 | 81,000 | 81,000 |
| 印刷製本費 | 247,000 | 247,000 |
| 光熱水料費 | 200,000 | 200,000 |
| 賃借料 | 650,000 | 650,000 |
| 会場使用料 | 1,067,000 | 1,067,000 |
| 保険料 | 52,000 | 52,000 |
| 諸謝金 | 891,000 | 891,000 |
| 委託費 | 410,000 | 410,000 |
| 支払手数料 | 110,000 | 110,000 |
| 雑費 | 1,078,000 | 1,078,000 |
| 経常費用計 | 13,427,000 | 13,427,000 |
| 評価損益等調整前当期経常増減額 | ▲ 11,383,000 | ▲ 11,383,000 |
| 評価損益等計 | 0 | 0 |
| 当期経常増減額 | ▲ 11,383,000 | ▲ 11,383,000 |
| 2. 経常外増減の部 | | |
| (1) 経常外収益 | | |
| 経常外収益計 | 0 | 0 |
| (2) 経常外費用 | | |
| 経常外費用計 | 0 | 0 |
| 当期経常外増減額 | 0 | 0 |
| 他会計振替前当期一般正味財産増減額 | ▲ 11,383,000 | ▲ 11,383,000 |
| 当期一般正味財産増減額 | ▲ 11,383,000 | ▲ 11,383,000 |
| 一般正味財産期首残高 | 0 | 0 |
| 一般正味財産期末残高 | ▲ 11,383,000 | ▲ 11,383,000 |
| II 指定正味財産増減の部 | | |
| 当期指定正味財産増減額 | 0 | 0 |
| 指定正味財産期首残高 | 0 | 0 |
| 指定正味財産期末残高 | 0 | 0 |
| III 正味財産期末残高 | ▲ 11,383,000 | ▲ 11,383,000 |

資料 1 地盤工学会関西支部 歴代支部長・副支部長・幹事長名簿

| 年度 | 支部長 | 副支部長 | 幹事長 |
|------|--------------|-----------------|-------|
| 1958 | 昭和33 光井 三郎 | 塚本 猛次 村山 朔郎 | 松尾新一郎 |
| 1959 | 34 三宅静太郎 | 稲垣 皎三 木下 真治 | 松尾新一郎 |
| 1960 | 35 玉井 正彰 | 久保田敬一 中出 定夫 | 松尾新一郎 |
| 1961 | 36 棚橋 諒 | 河村 重俊 近藤市三郎 | 松尾新一郎 |
| 1962 | 37 石田 一郎 | 松尾新一郎 川上 敏夫 | 伊藤 富雄 |
| 1963 | 38 村山 朔郎 | 菅田 豊重 福山真三郎 | 伊藤 富雄 |
| 1964 | 39 今岡 鶴吉 | 小泉 昇 沢田 敏男 | 伊藤 富雄 |
| 1965 | 40 島山 實 | 西尾 辰雄 谷口 尚武 | 伊藤 富雄 |
| 1966 | 41 調 強 | 谷口 尚武 伊藤 富雄 | 三笠 正人 |
| 1967 | 42 森田 紀元 | 伊藤 富雄 後藤 典夫 | 三笠 正人 |
| 1968 | 43 松尾新一郎 | 小泉 昇 近藤 和夫 | 三笠 正人 |
| 1969 | 44 橋 好茂 | 近藤 和夫 中谷 三男 | 島 昭治郎 |
| 1970 | 45 横尾 義貫 | 中谷 三男 加納 次郎 | 島 昭治郎 |
| 1971 | 46 伊藤 富雄 | 加納 次郎 平田 定夫 | 島 昭治郎 |
| 1972 | 47 南 俊次 | 平田 定夫 芳内 俊夫 | 赤井 浩一 |
| 1973 | 48 近藤 和夫 | 芳内 俊夫 長田 正雄 | 赤井 浩一 |
| 1974 | 49 沢田 敏男 | 長田 正雄 高村 靖 | 山肩 邦男 |
| 1975 | 50 谷口 尚武 | 高村 靖 鳥海 勲 | 山肩 邦男 |
| 1976 | 51 田中 茂 | 鳥海 勲 藤田 正和 | 三瀬 貞 |
| 1977 | 52 芳内 俊夫 | 藤田 正和 加藤 克己 | 三瀬 貞 |
| 1978 | 53 加納 次郎 | 加藤 克己 谷本 喜一 | 柴田 徹 |
| 1979 | 54 三露 嘉郎 | 谷本 喜一 竹山 喬 | 柴田 徹 |
| 1980 | 55 三笠 正人 | 竹山 喬 山肩 邦男 | 西田 一彦 |
| 1981 | 56 中谷 三男 | 山肩 邦男 中山 武宜 | 西田 一彦 |
| 1982 | 57 谷本 喜一 | 中山 武宜 中堀 和英 | 佐々木 伸 |
| 1983 | 58 赤井 浩一 | 中堀 和英 中井喜一郎 | 佐々木 伸 |
| 1984 | 59 三瀬 貞 | 中井喜一郎 柴田 徹 | 足立 紀尚 |
| 1985 | 60 高村 靖 | 柴田 徹 津垣 昭夫 | 足立 紀尚 |
| 1986 | 61 山肩 邦男 | 津垣 昭夫 前田 進 | 福田 護 |
| 1987 | 62 柴田 徹 | 前田 進 福井 實 | 福田 護 |
| 1988 | 63 片瀬 貴文 | 福井 實 平田 武弘 | 松井 保 |
| 1989 | 平成 1 竹山 喬 | 平田 武弘 澁谷平八郎 | 松井 保 |
| 1990 | 2 阪口 理 | 澁谷平八郎 西田 一彦 | 長谷川高士 |
| 1991 | 3 津垣 昭夫 | 西田 一彦 宮永 清一 | 長谷川高士 |
| 1992 | 4 佐々木 伸 | 宮永 清一 福住 隆二 | 軽部 大蔵 |
| 1993 | 5 中山 武宜 | 福住 隆二 平峯 悠 | 軽部 大蔵 |
| 1994 | 6 中堀 和英 | 平峯 悠 足立 紀尚 | 澤 孝平 |
| 1995 | 7 西田 一彦 | 足立 紀尚 西垣 好彦 | 澤 孝平 |
| 1996 | 8 足立 紀尚 | 西垣 好彦 来馬 章雄 | 沖村 孝 |
| 1997 | 9 平峯 悠 | 来馬 章雄 福田 護 | 沖村 孝 |
| 1998 | 10 松井 保 | 福田 護 田宮 芳彦 | 大西 有三 |
| 1999 | 11 福井 實 | 木山 正明 田宮 芳彦 | 大西 有三 |
| 2000 | 12 軽部 大蔵 | 衣斐 隆志 福本 武明 | 佐藤 忠信 |
| 2001 | 13 仙波 惇 | 竹山 征治 岩崎 好規 | 佐藤 忠信 |
| 2002 | 14 星野 鐘雄 | 岩崎 好規 澤 孝平 | 田中 泰雄 |
| 2003 | 15 沖村 孝 | 小河 保之 井上 啓司 | 田中 泰雄 |
| 2004 | 16 大西 有三 | 井上 啓司 佐藤 忠信 | 岡 二三生 |
| 2005 | 17 古土井光昭 | 武田 弘一 嘉門 雅史 | 岡 二三生 |
| 2006 | 18 嘉門 雅史 | 松尾 節夫 青山 咸康 | 楠見 晴重 |
| 2007 | 19 中島 裕之 | 青山 咸康 伊藤 文平 | 楠見 晴重 |
| 2008 | 20 奥田 剛章 | 橋本 正 田中 泰雄 | 大津 宏康 |
| 2009 | 21 田中 泰雄 | 井上 章 霜上 民生 | 大津 宏康 |
| 2010 | 22 霜上 民生 | 常田 賢一 松田 好史 | 澁谷 啓 |
| 2011 | 23 岡 二三生 | 松田 好史 榊原敏夫/安倍 茂 | 澁谷 啓 |
| 2012 | 24 松田 好史 | 深川 良一 河本克正/末廣正人 | 勝見 武 |
| 2013 | 25 谷本光司/池内幸司 | 末廣 正人 豊田 巖 | 勝見 武 |
| 2014 | 26 内田 一徳 | 三田村宗樹 木戸 洋二 | 大島 昭彦 |
| 2015 | 27 橋本 正 | 木戸 洋二 徳平 隆之 | 大島 昭彦 |
| 2016 | 28 竹内 廣行 | 伊藤 淳志 辻 俊一 | 芥川 真一 |
| 2017 | 29 楠見 晴重 | 辻 俊一 吉井 真 | 芥川 真一 |
| 2018 | 30 南荘 淳 | 伊藤 讓 木村 博規 | 小林 晃 |
| 2019 | 令和 1 豊田 巖 | 木村 博規 藪内 弘 | 渦岡 良介 |
| 2020 | 2 大島 昭彦 | 小田 和広 西森 正至 | 渦岡 良介 |
| 2021 | 3 東原 純 | 西森 正至 庄 健介 | 河井 克之 |
| 2022 | 4 東川 直正 | 鍋島 康之 中西 典明 | 河井 克之 |
| 2023 | 5 芥川 真一 | 中西 典明 田中 利光 | 乾 徹 |
| 2024 | 6 木村 博規 | 岸田 潔 長谷川憲孝 | 乾 徹 |
| 2025 | 7 田中 利光 | 長谷川憲孝 田山 聡 | 肥後 陽介 |

資料 2 地盤工学会関西支部 2025年度支部役員構成

2026年3月31日時点 (◎印2025年度就任)

| 役職名 | 氏名 | 所属名 | 役職名 | 氏名 | 所属名 |
|------|-------|-------------------------------------------|------|-------|------------------|
| ◎支部長 | 田中 利光 | 阪神国際港湾(株) | ◎ | 太田 里佳 | 復建調査設計(株) |
| 副支部長 | 田山 聡 | 西日本高速道路(株) | ◎ | 岸田 誠司 | 鹿島建設(株) |
| | 長谷川憲孝 | 神戸市港湾局 | ◎ | 上月 健司 | (株)大林組 |
| ◎ | 鳥居 宣之 | 神戸市立工業高等専門学校 | ◎ | 蒔 直樹 | 大阪市高速電気軌道(株) |
| 顧問 | 片瀬 貴文 | 元中央復建コンサルタンツ(株) | ◎ | 島本恵梨子 | (株)奥村組 |
| | 西田 一彦 | 関西大学名誉教授 | ◎ | 田中 貴人 | 国際航業(株) |
| | 平峯 悠 | NPO法人 地域デザイン研究会 | ◎ | 中西 弘 | (株)竹中土木 |
| | 松井 保 | (一財)災害科学研究所理事長、大阪大学名誉教授 | ◎ | 中野 尊之 | 中央復建コンサルタンツ(株) |
| | 福井 實 | 元大手前大学 | ◎ | 八谷 誠 | (協組)関西地盤環境研究センター |
| | 仙波 惇 | いであ(株)技術顧問 | ◎ | 林 訓裕 | 阪神高速道路(株) |
| | 星野 鐘雄 | NPO法人 地域デザイン研究会 | ◎ | 松元 大樹 | 中央開発(株) |
| | 沖村 孝 | (一財)建設工学研究所、神戸大学名誉教授 | ◎ | 宮川 知也 | 日本製鉄(株) |
| | 大西 有三 | (一社)ドローン測量教育研究機構、京都大学名誉教授 | ◎ | 安原 英明 | 京都大学 |
| | 古土井光昭 | Port Engineering Network | | | |
| | 嘉門 雅史 | (一社)環境地盤工学研究所理事長、京都大学名誉教授 | ◎幹事長 | 肥後 陽介 | 京都大学大学院 |
| | 中島 裕之 | 元阪神高速技術(株) | 幹事 | 井上 晃一 | 兵庫県 |
| | 奥田 剛章 | ニシキコンサルタント(株) | | 岩井 裕正 | 京都大学大学院 |
| | 田中 泰雄 | UTAR大学土木工学科教授、神戸大学名誉教授 | | 長田友里恵 | ケミカルグラウト(株) |
| | 霜上 民生 | (株)近畿地域づくりセンター | | 河田 晃靖 | 東洋建設(株) |
| | 岡 二三生 | 京都大学名誉教授 | | 木村 裕貴 | 中央復建コンサルタンツ(株) |
| | 松田 好史 | 西日本旅客鉄道(株) | | 後藤 浩司 | 阪神電気鉄道(株) |
| | 池内 幸司 | (一財)河川情報センター、東京大学名誉教授 | | 小柳 勇也 | 錦城護謨(株) |
| | 谷本 光司 | (一財)近畿建設協会 | | 並川 卓矢 | (株)竹中工務店 |
| | 内田 一徳 | 神戸大学名誉教授 | | 藤本 哲生 | 大阪工業大学 |
| | 橋本 正 | (株)地域地盤環境研究所 | | 村田 淳 | 鹿島建設(株) |
| | 竹内 廣行 | (一社)大阪府港湾協会 | | 赤木 俊介 | (株)不動テトラ |
| | 楠見 晴重 | 関西大学 | | 伊藤 真一 | 立命館大学 |
| | 南荘 淳 | 川田工業(株) | | 大藪 剛士 | 応用地質(株) |
| | 豊田 巖 | 元神戸市みなと総局 | | 加茂由紀彦 | 八千代エンジニアリング(株) |
| | 大島 昭彦 | 大阪公立大学 | | 木村 孔紀 | 西松建設(株) |
| | 東原 純 | 中央開発(株) | | 園田 悠介 | 神戸大学大学院 |
| | 東川 直正 | 2025年日本国際博覧会協会 | | 財田 一真 | 大阪府 |
| | 芥川 真一 | (一社)On-Site Visualization研究会代表理事、神戸大学名誉教授 | | 利根穂志美 | 川崎地質(株) |
| ◎ | 木村 博規 | 西松建設(株) | | 中村 大樹 | 西日本高速道路(株) |
| 支部監事 | 皿海 章雄 | 清水建設(株) | | 保科 友宏 | 清水建設(株) |
| ◎ | 小林 猛嗣 | (株)建設技術研究所 | | 水野 智亮 | 大成建設(株) |
| 商議員 | 伊藤 譲 | 摂南大学 | ◎ | 山内 雅基 | (株)地域地盤環境研究所 |
| | 瀬口 均 | 関西エアポート(株) | | 一色 康広 | 五洋建設(株) |
| | 江副 哲 | (株)不動テトラ | ◎ | 緒方 奨 | 大阪大学大学院 |
| | 加藤 亮輔 | (株)日建設計 | ◎ | 岡田 直樹 | NTTインフラネット(株) |
| | 譽田 孝宏 | (株)地域地盤環境研究所 | ◎ | 梶原 雄哉 | 阪神高速道路(株) |
| | 白神新一郎 | 錦城護謨(株) | ◎ | 川口 育久 | (株)竹中土木 |
| | 竹山 智英 | 神戸大学大学院 | ◎ | 高橋 円 | (株)建設技術研究所 |
| | 戸田 信親 | 清水建設(株) | ◎ | 高山 裕介 | 神戸大学 |
| | 新村 知也 | 大阪ガス(株) | ◎ | 谷口 和則 | (株)大林組 |
| | 濱田 吉貞 | 西日本旅客鉄道(株) | ◎ | 中敷 恭介 | 復建調査設計(株) |
| | 藤森 章記 | 奥村組土木興業(株) | ◎ | 野並 賢 | 神戸市立工業高等専門学校 |
| | 山下 隆之 | 神戸市 | ◎ | 山本 恭也 | 前田工織(株) |
| | 山下 剛 | 大成建設(株) | ◎ | 山本 奈菜 | (株)オーク |
| ◎ | 井上 一哉 | 神戸大学 | ◎ | 輪木 佑哉 | 大阪ガス(株) |

資料 3 地盤工学会関西支部 特別会員名簿

特別会員の特典については地盤工学会WEBサイトをご覧ください。

2026年3月31日 現在

【特級5団体】

団体名

株式会社大林組
鹿島建設株式会社関西支店
株式会社鴻池組
国土交通省近畿地方整備局
大成建設株式会社関西支店

【1級9団体】

団体名

株式会社浅沼組
株式会社奥村組
五洋建設株式会社大阪支店
株式会社竹中土木大阪本店
中央復建コンサルタンツ株式会社
西松建設株式会社西日本支社
株式会社日建設計
株式会社不動テトラ大阪支店
前田建設工業株式会社関西支店

【2級17団体】

団体名

株式会社大阪防水建設社
奥村組土木興業株式会社
関西エアポート株式会社
株式会社建設技術研究所大阪本社
清水建設株式会社関西支店
新関西国際空港株式会社
大幸工業株式会社
大鉄工業株式会社
中央開発株式会社関西支社
東急建設株式会社関西支店
東洋建設株式会社鳴尾研究所
戸田建設株式会社大阪支店
西日本旅客鉄道株式会社
株式会社ニュージェック
兵庫県
株式会社マルイ
村本建設株式会社

【3級23団体】

団体名

大阪ガス株式会社
大阪市高速電気軌道株式会社
川崎地質株式会社西日本支社

協同組合関西地盤環境研究センター
株式会社KANSOテクノス
基礎地盤コンサルタンツ株式会社関西支社
京都大学大学院工学研究科 土木施工システム工学
京都大学大学院地球環境学堂
京都大学大学院農学研究科地域環境科学専攻施設機能工学研究室
株式会社近畿地域づくりセンター
国土交通省近畿地方整備局港湾空港部
一般財団法人GRI財団
ジェイアール西日本コンサルタンツ株式会社
大成機工株式会社
大和ハウス工業株式会社総合技術研究所
株式会社竹中工務店大阪本店
西日本高速道路株式会社
西日本高速道路株式会社関西支社
日本海工株式会社
阪神高速技術株式会社
丸五基礎工業株式会社
株式会社マルシン
三井住友建設株式会社大阪支店

【4級117団体】

団体名

株式会社アーステック東洋
あおみ建設株式会社
株式会社浅川組
株式会社アサノ大成基礎エンジニアリング関西支社
株式会社アテック吉村
株式会社新井組 土木本部
株式会社エース
株式会社ADE
株式会社エステック
株式会社エヌイーエス
NTTインフラネット株式会社関西事業部
応用地質株式会社関西事務所
株式会社OSW
大阪公立大学地盤工学研究室
大阪大学大学院工学研究科社会基盤工学部門地盤工学領域
大阪湾広域臨海環境整備センター
株式会社オキココーポレーション
株式会社かんこう
関西大学環境都市工学部
関西大学 デザイン地盤工学研究室
キタイ設計株式会社
京都市
京都大学大学院工学研究科社会基盤工学専攻地盤力学研究室
京都大学大学院工学研究科都市社会工学専攻ジオマネジメント工学講座ジオフロントシステム工学分野
京都大学防災研究所地震防災研究部門耐震基礎研究分野
京都大学防災研究所地盤災害研究部門・地盤防災解析研究分野
協和設計株式会社

株式会社共和電業大阪営業所
一般社団法人近畿建設協会
株式会社キンキ地質センター
錦城護謨株式会社
株式会社近代技研
株式会社熊谷組関西支店
ケイコン株式会社
計測技研株式会社
計測テクノ株式会社
株式会社K G S
ケミカルグラウト株式会社関西支店
神戸市建設局
神戸市港湾局
神戸市道路公社
株式会社こうべ未来都市機構
国土交通省近畿地方整備局紀南河川国道工事事務所
国土交通省近畿地方整備局京都国道事務所
国土交通省近畿地方整備局神戸港湾空港技術調査事務所
国土交通省近畿地方整備局滋賀国道事務所
国土交通省近畿地方整備局豊岡河川国道事務所
国土交通省近畿地方整備局兵庫国道事務所
国土交通省近畿地方整備局福知山河川国道事務所
国土交通省近畿地方整備局淀川河川事務所
国土防災技術株式会社大阪支店
サンコーコンサルタント株式会社大阪支店
サンスイコンサルタント株式会社
株式会社ジオシステム
株式会社ジオブレーン
芝田土質株式会社
株式会社地盤調査事務所大阪事務所
株式会社修成建設コンサルタント
株式会社昭和設計
株式会社白浜試錐
新生重機建設株式会社
日本製鉄株式会社大阪支社
正和設計株式会社
株式会社セーフティーアイランド
全日本コンサルタント株式会社
株式会社ソイルテクニカ大阪営業所
総合計測株式会社
株式会社ダイカ
大日本ダイヤコンサルタント株式会社大阪支社
太洋エンジニアリング株式会社
株式会社田中
株式会社地域地盤環境研究所
地球観測株式会社
株式会社中研コンサルタント
鉄建建設株式会社大阪支店
株式会社テノックス大阪営業所
東亜建設工業株式会社大阪支店
株式会社東京ソイルリサーチ関西支店

株式会社東京測器研究所大阪営業所
株式会社東畑建築事務所
東洋技研コンサルタント株式会社
内外エンジニアリング株式会社
中林建設株式会社
株式会社中堀ソイルコーナー
西日本高速道路エンジニアリング関西株式会社
株式会社西山工務店
株式会社日建技術コンサルタント
日鉄レールウェイトテクノス株式会社
日特建設株式会社大阪支店
日本基礎技術株式会社関西支店
ハイテック株式会社
ハウス技研通商株式会社
パシフィックコンサルタンツ株式会社大阪本社
播磨地質開発株式会社
阪急設計コンサルタント株式会社
阪急電鉄株式会社
阪神高速技研株式会社
一般財団法人阪神高速先進技術研究所
阪神高速道路株式会社
阪神国際港湾株式会社
株式会社阪神コンサルタンツ
公益財団法人兵庫県まちづくり技術センター
株式会社フジタ大阪支店
復建調査設計株式会社大阪支社
平成テクノス株式会社
報国エンジニアリング株式会社
本州四国連絡高速道路株式会社
前田工織株式会社
株式会社松村組
丸泰土木株式会社大阪営業所
株式会社森組
株式会社森本組
株式会社安井建築設計事務所
株式会社山崎砂利商店
株式会社ヨコタテック
ライト工業株式会社西日本支社
若築建設株式会社大阪支店

地盤工学会関西支部
インスタグラム



@jgs_kansai